

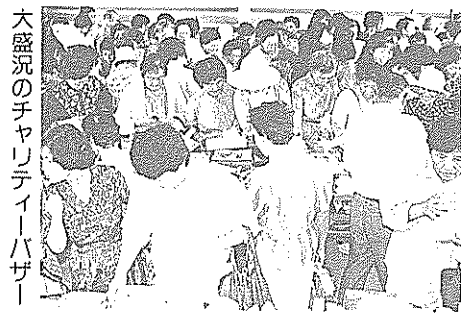
# バザーにとっと三百人

## ○第七回南国市福祉展○

「南国市福祉展」が九月二十日、市社会福祉センターで開かれ、多数の出入でにぎわいました。

この福祉展は、市民の連帯とボランティア意識を深めることにより、福祉の風土づくりをと、市と市社会福祉協議会が開いているもので、今年で七回目。

展示室には、土佐清風園のお年寄りの書や手芸品、土佐希望の家や南海学園からの絵や工作品、また福祉協力小学校の児童や一般市民からの作品を展示、一部の作品は即売されました。そのほか小高坂更生センターで作られた木製品の販売や、補装具の展示と修理も終日行われました。



大盛況のチャリティーバザー

午後からは、主婦に人気のチャリティーバザーが行われました。今年は老人会からの寄贈品が増えるなど市民の協力で集まった品は

約三千点。昨年より千点余り多かったにもかかわらず、開場と同時に、主婦ら約三百人が詰め掛け、あっという間に品切れになる盛況ぶりでした。

この売上金は、社会福祉のために役立てられることになっています。

## 南国消防署救助隊 好タイムで入賞 全国消防救助技術大会



入賞を果たした南国チーム

八月十九日に神奈川県横浜市中で第十七回全国消防救助技術大会が開催され、南国チームが「ほふく救出」部門で入賞を果たしました。全国から強豪十九チームが参加。自秒の制限時間内での迅速・機敏・的確な救助活動を競い合いました。四国地区代表の南国チーム（久保康祐、岩下清一、河村直知）は六十三・六秒の好成績で見事入賞。出場が決定して以来、北部出張

所の訓練塔で連日猛特訓を重ねていましたが、これは訓練中にも出なかつたほどの好タイム。これについて引率の副署長前田賢夫司令補は「入賞できたことは非常にうれしく、今後の訓練に、また消防活動にいつその励みとなります」と語りました。また、川田正雄消防長は「市民の皆様への安全・身体・財産を災害から保全するための職員の種々の訓練に、皆様方の暖かいご理解とご協力をお願いします」と話していました。

## 故森本歯科診療所長の遺族が 市に五十万円を寄付

森本歯科診療所の故森本泰自所長の遺族が九月十二日に市に五十万円を寄付しました。

故森本泰自所長は、市内の大森小学校、日章小学校の校医として学校歯科衛生に貢献するなど活躍されていましたが、八月に逝去。

この日市役所を訪れた奥さんの須美子さんは「故人の遺志を尊重して市の教育、文化の振興に役立ててほしい」とあいさつ、市長



市長に目録が手渡された

## 効果的な交通安全対策を

### 交通安全知事メッセージ伝達式

秋の全国交通安全運動初日の九月二十一日、交通安全知事メッセージ伝達式が、市役所前で行われました。

知事からのメッセージは、「日ごろからの尽力を感謝するとともに、秋の全国交通安全運動を契機として更に交通事故防止の徹底に尽力を」というもの。これに対して「地域の実情に即した効果的な交通安全対策を強力に推進していく」との決意表明が手渡されました。

その後南国バイパスに場所を移



メッセージを読み上げる  
県消防交通安全課長